

営農技術情報

—畑作（馬鈴しょ②）—

令和2年 6月 26日 発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～疫病の初発は平年並から早い見込み～

1 生育経過

植え付けから萌芽までの期間は平年より短く、主茎長は長いです。

＜生育状況（6月15日現在）＞

	植付始	植付期	植付終	萌芽期	主茎長 (cm)	茎数 (本/株)
本年	5/ 9	5/20	6/ 1	6/ 4	7.4	4.1
平年	5/12	5/18	5/29	6/ 8	3.1	2.1
遅速	早3日	遅2日	遅3日	早4日	+4.3	+2.0

2 病虫害防除

(1) FLABSによる疫病発生予察（萌芽日を6/4とした場合）

6月中旬以降の曇雨天と低温により、疫病の初発は平年並から早い見込みです。

疫病は低温多湿で急速にまん延するため、発生を確認してからの防除では手遅れになります。ほ場をよく観察し、適期防除に努めましょう。

気象観測地点	危険到達日	予測初発日	70%の確率で予想される初発期間
名寄アメダス	6/24 (平年 6/25)	7/10 (平年 7/11)	6/30～7/20
美深アメダス	6/22 (平年 6/28)	7/ 9 (平年 7/13)	6/29～7/19

(2) 疫病の防除

- ・茎葉が急激に成長する段階では、浸透移行性のある薬剤を使用しましょう
- ・初発を確認した場合や感染が疑われる場合は、速やかに治療効果のある薬剤で防除しましょう
- ・生育後半には、塊茎腐敗に効果のある薬剤を使用しましょう

【疫病の防除薬剤例】（令和2年度JA農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより）

防除方法	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	浸透性	効果	塊茎腐敗	夏疫病
通常	リライアブルフロアブル	800～1000倍	7日前	3	○○	予治	○	×
	ゾーベックエニケード	5000倍	7日前	2	○	予治	×	×
	ゾーベックエンカンティア	2000倍	14日前	2	●○	予治	×	×
	ホライズンドライアブル	1000～2500倍	14日前	4	○●	予治	×	○
	プロポーズ顆粒水和剤	750～1000倍	7日前	5	○×	予治	○	○
	フロンサイドSC	1000～2000倍	7日前	4	×	予	○	○
無人ヘリ	ホライズンドライアブル	40倍 (3.2 μ g/10a)	14日前	4	○●	予治	×	○

※令和2年度くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイドを基に一部修正

※浸透性：○浸透移行性が認められる、●浸透性のみ認められる、×認められない

※TPNを含む農薬の総使用回数は5回以内：プロポーズ、ダコニールエース等

※ファモキサドンを含む農薬の総使用回数は4回以内：ゾーベックエンカンティア、ホライズン等

※プロポーズとレーバスは同系統（酸アミド(CAA)）の成分を含むため、連用は避ける

(3) 軟腐病の防除

- ・窒素過多や倒伏により発生しやすくなり、高温多湿条件が続くと多発します
- ・下葉（地際）の発病状況に注意し、初期防除の徹底に心がけましょう
- ・生育量に応じて散布水量を調節しましょう

【軟腐病の防除薬剤例】（令和2年度JA農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより）

薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数	浸透性	効果
スターナ水和剤	カルボン酸	1000倍	7日前	5	△	予治
カスミンボルドー	抗生物質・銅	500～800倍	7日前	3	○×	予治
クプロシールド	無機銅	1000～2000倍	—	—	×	予

※令和2年度くみあい農作物病虫害・雑草防除ガイドを基に一部修正

※浸透性：○浸透移行性が認められる、●浸透性のみ認められる

△浸透移行性が認められるが強くない、×認められない

※オキシリニック酸を含む農薬の総使用回数は5回以内（種いも浸漬は1回以内）

：スターナ、カセット等

※カスガマイシンを含む農薬の総使用回数は4回以内：カセット、カスミンボルドー

※ストレプトマイシンを含む農薬の総使用回数は5回以内（種いもへの処理は1回以内）

：アグレプト、アグリマイシン、アタッキン等

◎ 農薬は使用基準を守り、周囲への飛散に注意しましょう ◎